

試合終了の笛が鳴り、前回覇者の青森山田に勝利し喜ぶ長崎総合  
科学大付の選手たち  
＝フクダ電子アリーナ（濱崎武撮影）



## 長総大付 初の8強

### 全国高校サッカー

サッカーの第96回全国高校選手権第4日は3日、千葉市のフクダ電子アリーナなどで3回戦8試合が行われ、本県代表の長崎総合科学大付は前回覇者の青森山田を1-0で破り、初の8強入りを果たした。

#### 【18面に関連記事】

長総大付は前半25分、FW安藤のミドルシュートで先制。この1点を全員で粘り強く守りきった。準々決勝は5日午後2時10分からさいたま市の浦和駒場スタジアムで、昨夏の全国高校総体王者の流通経大柏（千葉）と対戦する。

# 第96回 全国高校サッカー選手権

第4日

## 安藤先制G 青森山田に1-0

サッカーの全国高校選手権第4日は3日、千葉市のフクダ電子アリーナなどで3回戦8試合が行われ、本県代表の長崎総合科学大付は前回優勝の青森山田に1-0で競り勝ち、初の8強入りを果たした。県勢としては

2004年度に3位となった国城、上田西(長野)、米子北(鳥取)、前橋育英(群馬)が見以来13年ぶり。昨夏の全国高校総体覇者の流通経大柏(千葉)は日章学園(宮崎)を1-0で退けた。この後は青森山田の猛攻に遭ったが、GK湊、DF田中らを軸に全員守備でしのいだ。

第5日は5日、各地で準々決勝4試合を実施。長総大付は午後2時10分からさいたま市の浦和駒場スタジアムで流通経大柏と対戦する。(中島崇雄)

# 長総大付、前回覇者破る



【3回戦、青森山田ー長崎総合科学大付】前半29分、長総大付のFW安藤(右)が相手に囲まれながらもドリブル突破を図る

## 難敵相手に戦術奏功

試合終了の笛が鳴ると、長崎総合科学大付イレブン(拳)は拳を天に突き上げた。2連覇を狙う青森山田の猛攻をしのいで初の8強入り。「強いチームが勝つとは限らない。少々の可能性を信じてやれば、こんなまぐれもある」。小嶺監督は満足そうにうなずいた。

### ハイライト

U18日本代表でJ1神戸内定のMF郷家、J2山形内定のFW中村らタレントがそろった難敵。「個の力ではかなわない。マンマークしかない」(小嶺監督)と練ってきた戦術が奏功した。GK湊のビッグセーブもあり、シュート15本を浴びながら無失点で終えた。拮抗した展開でエースストラ

## 小嶺監督「強い方が勝つとは限らない」

イカーが仕事を果たした。J1・C大阪入りが決まっているFW安藤。前半25分、ミドルレンジでボールを受けると、鋭いタインでDF2人を置き去りに。右足を振り抜き、ゴール右隅にたたき込んだ。勝利へ導く3試合連続弾に「自分の1点で勝つことができうれしい」とはにかんだ。

次は昨夏の全国高校総体準々決勝で負けた流通経大柏(千葉)へのリベンジマッチ。安藤が累積警告で出場停止になるが、チームの思いは一つだ。主将のDF田中は「代わりに出る選手でカバーする。きょうと同じようなサッカーができれば、結果はついてくる」。夏の雪辱を果たし、初の全国4強へ。一致団結して大一番を迎える。(中島崇雄)



【3回戦、青森山田ー長崎総合科学大付】後半2分、長総大付のMF嶋中(右)が青森山田のMF郷家に体を寄せ、(濱崎武撮影)

### ひと言

◆小嶺忠敏監督 最後まで崩れたけれど、それまでは集中して守った。FW安藤がよく点を取ってくれた。(準々決勝は)流通経大柏(千葉)が上。チャレンジですよ。何も失うものはない。

◆MF西原先毅(3年) 青森山田の守備陣はヘディングや対人が強かったが、気持ちで負けられない意識した。相手のアンカーにボールが入ったらプレスに行くなど、守備面でチームに貢献できたと思う。

◆MF岩本蓮太(3年) 前線にボールを入れさせないために、寄せるディフェンスを心掛けた。危ない場面は何度かあったが、無得点に抑えることができ、次につながった。

◆MF嶋中春児(3年) 青森山田のMF郷家にマンマークをしていた。また、足元の技術も高いので、抜かれないように注いで距離を考えながら守れた。

○：長崎総合科学大付のGK湊が好セーブを連発。抜群のシュートストップや1対1の対応で、青森山田の強力な攻撃陣を封じた。3年生の守護神は「みんなが体を張ってコースを限定してくれた。その思いを無駄にしたくなかったから頑張った」と胸を張った。後半25分は195秒の長身FW三國(浦川)住田(佐藤)

## GK湊、好セーブ連発

身FW三國のヘディングシュートを横つ跳びして右手でパンチング。ゴール前に迫ってくる相手に臆せず、間合いを詰めてプレッシャーを与えた。試合終了間際、FW中村が抜け出したピンチも冷静に対応した。

準々決勝で対戦する流通経大柏(千葉)は因縁の相手。昨夏の全国高校総体準々決勝で、後半29分に不意を突かれて勝ち越しのミドルシュートを決められた。「リベンジという思いが一番強い。集中を最後まで切らさずに無失点で頑張りたい」と闘志を燃やしていた。(中島崇雄)



【3回戦、青森山田ー長崎総合科学大付】前半26分、パンチングでクリアする長総大付のGK湊(濱崎武撮影)

長崎総合科学大付 1-0-0 青森山田

得点者：長安藤

【評】長崎総合科学大付が全員守備で青森山田を完封。前半25分にエースストライカー安藤が個人技で決めた1点を守りきった。長総大付はマンマークを徹底。MF嶋中、諸石が相手のキーマンに自由にプレイさせなかった。互いにロングスローで好機をつくる展開。後半はサイドから崩され、決定機もつくれたが、GK湊の好セーブなどでしのいだ。途中出場してきた195秒の長身FW三國(浦川)住田(佐藤)

▽得点者：長安藤

▽得点者：【明】荒井、【大】荒井、【群】青英、【富】山第一、【飯】飯島、【前】飯島、【西】西野、【岡】岡山、【作】作陽

▽得点者：【巨】亀山、【作】黒瀬

▽得点者：【丸】丸山、【根】根本、【田】田中、【明】明秀学園、【大】大阪桐蔭、【宮】宮崎、【加】加藤、【流】流通経大、【日】日章学園、【神】神村学園、【鹿】鹿屋、【鹿】鹿屋、【米】米子北、【赤】赤松、【鳥】鳥取、【坂】坂本、【高】高橋、【高】高橋、【石】石川、【帝】帝京、【大】大宮、【児】児島、【岐】岐阜

▽得点者：【上】丸山、【根】根本、【田】田中、【明】明秀学園、【大】大阪桐蔭、【宮】宮崎、【加】加藤、【流】流通経大、【日】日章学園、【神】神村学園、【鹿】鹿屋、【鹿】鹿屋、【米】米子北、【赤】赤松、【鳥】鳥取、【坂】坂本、【高】高橋、【高】高橋、【石】石川、【帝】帝京、【大】大宮、【児】児島、【岐】岐阜

## 青森山田敗退

○：前回王者の青森山田は長崎総合科学大付の6本を大きく上回る15本のシュートを浴びせたが、ゴールを割れなかった。黒田監督は「チャンスはあったが、昨年のチームにあった決定力がなかった」と淡々と敗戦を受け入れた。

開会式で選手宣誓をした守備の要、小山内主将は「(失点の)シュートを打たせてしまったのが敗因」と目を真っ赤にはらした。J1神戸入りする郷家は「優勝を狙っていた。すごく悔しい」とぼやけ、自失の様子だった。